

# ホゴコンエースMS-F仕様書

## (骨材吹き付け)

株式会社セブンケミカル

用途

コンクリート・モルタル面

御影石・砂岩面・Pタイル面 等

(風呂場やシャワー室など、床面下地側に水分が残り易い場所への施工はお勧め出来ません。)

塗装環境の確認

(Ⅰ) 一般屋外(雨が掛かり濡れる部分)

(Ⅱ) 屋内側(雨の当たらない、又は当りづらい)

骨材吹き付け塗装仕様

工程	使用材料	塗付量 ( $\text{m}^2/\text{kg}$ )	工程間隔 (時間)	施工方法
1	ホゴコンエースMS-F (骨材抜き)	0.1~0.15	追いかけ	短毛又は中毛ローラー
2	ホゴコンエースMS-F (骨材吹き付け)	0.02~0.03	2以上	低圧温風ガン/カップガン
4	ホゴコンエースMS-F (骨材抜き)	0.1~0.15	24以上	短毛又は中毛ローラー

\* 又は、工程1・2を繰り返し、最後に工程3で終わる。

但し、翌日に継続塗装は出来ません。継続する場合1週間程空けてから塗装して下さい。

注意

- ホゴコンエースMS-Fは、当日2~3回塗り仕上です。施工面積の広い場合、予め、歩行導線を考慮しながら目地で見切り施工日程を決めます。
- 吸い込みが大きいコンクリート・モルタル面への施工の場合、ホゴコンエースMS-F 艶有りを骨材抜きで捨て塗りをして下さい。  
(直接艶消しを塗り付けると、部分的に樹脂のみを吸い込んでしまい、その部分が濡れ色にならず、艶消し材が斑な状態で表面に残ってしまう場合があります。)  
捨て塗りをする場合ホゴコンエースMS-F専用シンナーで20~30%希釈してお使い下さい。
- ホゴコンエース骨材量は、通常重量比(基剤:硬化剤:骨材 13:1:1)でセットされております。  
\* 骨材の吹き付けは、20g~30gを、既吹き付け部に被らぬように吹いてください。  
\* 基剤と硬化剤の重量比 13:1を現場で調整してご使用下さい。  
\* 不特定多数の通行量がある場合、骨材を多くすることで、踵での割れ、汚れに対して有効的と判断しております。  
\* 屋内側での施工では、通気を良くし、施工して下さい。